

## 亡くなられたご支援者の霊を弔う式典を開催



ドゥアン・プラティープ財団では1月5日、これまでに多大なご支援をいただいて亡くなられた方々の霊を弔う式典を開催しました。

式典は地元クロントイの寺院から9名の僧侶をお招きし、財団理事長のサンティ・ハティラット医師とプラティープ・ウンソンタム・秦事務局長、姉のミンポン・ウンソンタム理事をはじめ財団スタッフ全員が参加して行われました。

財団は今年8月、設立40周年の記念日を迎えますが、ここまで歩んで来れたのは数え切れないほど多くの方々のご支援を受け、励まされて来たからです。

たとえば物故者の中のお一人の元ジャーナリストのウドム・イエン・ルッディ氏は、「一日一パーツ学校」と呼ばれた私塾を開いて学校に行けないスラムの子どもたちに読み書きを教えていたプラティープさんをラモン・マグサイサイ賞の候補者として推薦していただき、1978年の受賞の喜びにつながりました。

プラティープさんは「国内外の多くのご支援を得てここまで歩んで来れたことに心より感謝し、これからも一人でも多くのスラムの子どもたちに学ぶ機会と喜びを与えられるよう、一層努力してまいります」とお礼のあいさつを述べました。